

未来への挑戦

宮崎国際大学 学生教職支援センター通信 平成28年度第3号

2016年7月8日 発行：学生教職支援センター



学生教職支援センターを多くの学生が活用しています

特集：学生教職支援

- 平成29年度宮崎県公立学校教員採用選考試験応募状況発表！
- 平成28年度特別対策講座「応用 I」を振り返って！
- 保育教諭を目指すみなさんへー学生時代にぜひ身に付けて欲しいこと
- 「保育士修学資金貸付等事業」がスタートします！（予告）
- 国際教養学部4年生の教育実習が終了
- 「就職・進学支援課」佐土原さんからの各種情報について

平成29年度宮崎県公立学校教員採用選考試験**応募状況発表！**

平成28年5月20日（金）で申込みが締め切られた平成29年度宮崎県公立学校教員採用選考試験の**応募状況**が宮崎県教育委員会のホームページで公表されました。

詳細は2ページの表のとおりです。

小学校教諭（英語枠を含む）の倍率が、昨年度の5.9倍に対し、**4.0倍**とさらに下がり、採用試験の応募者にとっては広き門となっています。一昨年度は、採用予定者が44人で倍率が10.4倍でしたから、**ここ3年余りで競争倍率が半分以下になったこと**になります。

中学校英語についても、一昨年度が16.3倍、昨年度が18.7倍であったのに比べ、今年度は**11.2倍**ですからこちらも倍率がかなり下がりました。

これに対して、高等学校英語については一昨年度が27倍、昨年度が11.3倍でしたが、今年度は、**22.5倍**であり、依然として厳しい状況にあるといえます

受験区分	平成29年度			平成28年度		
	応募者数	採用予定	倍率	応募者数	採用予定	倍率
小学校教諭等	469	116	4.0	463	78	5.9
中学校教諭等	482	57	8.5	487	49	9.9
高等学校教諭等	461	43	10.7	431	41	10.5
特別支援学校教諭等	129	30	4.3	132	30	4.4
養護教諭	118	23	5.1	118	20	5.9
栄養教諭	37	4	9.3	37	3	12.3
全体	1,696	273	6.2	1,668	221	7.5
高等学校教諭（英語）	45	2	22.5	45	4	11.3
中学校教諭（英語）	112	10	11.2	112	6	18.7

国際教養学部教職課程の4年生は、教員採用一次試験まで残り1か月を切りました。最後まであきらめずに力を振り絞り、合格の栄冠を勝ち取ってください。

平成28年度特別対策講座「応用Ⅰ」を振り返って！

教育学部3年生を対象に、平成28年4月26日（火）から年間24回にわたって開設している教員採用試験対策講座が、6月21日で第8回を数えました。受講している小幼コースの皆さんの感想を紹介します。

◇ Aさん（女子）・・・ 教員対策試験講座を受けて、いくつも問題を解いていくうちに少しずつですが解けるようになってきました。授業や以前の対策講座で習ったことや復習などを通し、問題が少しずつわかるようになりました。また問題を解いていくうちに、いよいよ採用試験が迫ってきているんだと思い緊張感や不安感がつります。しかし、練習に練習を重ねることで問題を解くことに慣れてきます。それがいま、本番に向けての準備段階だと思って取り組んでいます。自分の今の状況をみて採用試験の勉強が全く不足しているし、試験に対し不安はありません。それを払拭するためにも

対策講座に限らず自分で過去問を解いたり、問題の復習をしたりして日々の学習に取り組んでいけたらと思っています。

以前行った問題を復習してもう1度行った際にスラスラと解くことができ、答えを覚えるだけでなく解説を読んだり指導要領で確認したりして学習に手ごたえを感じる経験もしました。何回も問題をするとそれに似たような問題がいつかの過去問にも出ているのに気づきました。教員採用試験の学習方法がまだ充分には分かりませんが、とにかくたくさん過去問を解きパターンをつかんでいきたいです。

◇ Bさん(男子)・・・採用試験特別対策講座「応用I」を既に7回受けましたが、このような機会が用意されていなかったら、日常生活の中ではなかなか過去問などには取り組まないと思いました。既に、大学3年の6月です。教員採用試験に向けて真剣に取り組まなければならない時期だと分かっているながら、自宅では出来ていませんでした。従って、この「応用I」で集中して取り組めることから、応用I講座の開講について有り難く思っています。今は、最高で6割しか点数を取れていませんが、残りの講座に出席して過去問を解くことで9割の正答率を得られるようにしていきたいと思えます。

◇ Cさん(女子)・・・対策講座では、色々な都道府県の教員採用試験を解きました。その中で、自分の勉強不足を実感しました。教科によっては今までの知識で解けるものもありますが、苦手な教科や教職教養などはまだまだ勉強が必要だと思えました。やった分だけ結果に出ると思うのでコツコツとやっていきたいです。また、問題を解くたびに復習をしっかりと行うことが大切だと思えました。特に、各教科の目標などは必ず出るので一言一句間違えないくらい勉強して覚え

なければいけないと感じました。これから、実習などが増えてくるので時間を有効に使って、少しでも勉強時間を確保できるように努力したいです。授業の内容と対策講座で学んだ知識が私の今後の教育実践力の向上に結び付けられるように心がけたいです。

◇ Dさん(女子)・・・毎週火曜日にある対策講座で私はいくつか学んだことがあります。

一つは、何度も問題を解いていけば少しずつ解けるようになってくる、ということ。はじめのうちはほとんどわからず勘で答えていた問題も、2回目、3回目と回数を重ねるたびに少しずつ分かるようになってきました。まだまだ解けないところが多いので頑張りたいと思えます。

二つめは、問題の解き方が何となくではありますがつかめてきている、ということ。このような問題にはこういう解き方、こっちの問題ではこのような解き方、というように解くことができるようになってきました。これからも参加できるときは、是非とも参加して多くの問題を解いていき、教員採用試験合格を目指して頑張りたいです。

◇保育教諭を目指すみなさんへー学生時代にぜひ身に付けて欲しいこと

保育現場の先生に新任保育教諭の様子について伺うと、「離職率が高い、挨拶や言葉づかいなど社会人としてのマナーが身に付いていない、責任を感じない、保育士保育指針や幼稚園教諭教育要領の不勉強、日々の保育記録をとる能力が低い」など、保育教諭の専門性ととともに、社会人としての基礎的なマナーについての問題が多く指摘されています。しかし、この力はすぐに身に付くものではありません。

そこで、大学の日常生活の中で、挨拶、言葉づかい、立ち振る舞いに気をつけ、忍耐強さ、自分の行動に責任を持つ、知識の獲得、考える力や書く力を、しっかり身に付けていきましょう！

◇「保育士修学資金貸付等事業」がスタートします！【予告】

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、保育人材のニーズが高まったことを受けて、宮崎県こども政策課は、平成28年度より「保育士修学資金貸付等事業」をスタートします。この中には四つの異なる事業がありますが、学生のみなさんに関連する事業を簡単に紹介したいと思います。

四つの事業の中でも、「保育士修学資金貸付」は1年生に直結する事業です。当事業は、保育士養成施設に通う学生に対し、修学資金を一部貸付けるもので、具体的には、学費月5万円以内（最大2年間）、入学金及び就職準備金20万円以内を借りることができます。この事業と一般的な奨学金との一番の違いは、“返還免除要件”があることです。つまり、卒業後1年以内に保育士登録を宮崎県において行い、県内の保育所等において5年以上保育士として勤務すれば、貸付金の返還が免除されるという仕組みです。今年の1年生については、入学時に遡り、貸付を受けることができます。

これらの事業の詳細は、夏頃に正式に発表される見込みで、それに合わせて、具体的な申請手続き等も動き出すこととなります。保育士になりたいという熱意に溢れ、卒業後も保育士として働くビジョンを描くことができている人には、魅力的な事業であると思います。関心のある人は、学生教職支援センターまで。

国際教養学部4年生の教育実習が終了

国際教養学部教職課程履修の4年生11名が、無事3週間の教育実習を終了しました。それぞれ大きな手ごたえを感じたり新たな課題を見つけたりしたようです。

ここで教育実習生の中から、宮崎市立東大宮中学校で実習を行った山本卓君の感想文を紹介します。

3週間の教育実習が終了しました。これまでの人生で、こんなに早く過ぎ去って、凝縮され、充実した3週間は経験したことがありませんでした。

教育実習オリエンテーションで最初に1年4組担当ですと言われたときは、期待と不安でいっぱいでした。担当クラスで自己紹介をした時、久しぶりに入った教室や机がとても小さく感じました。自分の母校だったので、生徒たちも自分の後輩なのかと思うととてもかわいく思えました。



担当は英語で、本当にたくさんの授業を見学させてもらい、また授業をさせてもらいました。担当の先生からは、『実習生だからこそできるチャレンジ』について、実習では学ぶだけではなく、現場の教師にないもの、例えば若い発想などを見せてほしい、そのためには意欲的にチャレンジしてほしいとお願いいただき、自分は自由に授業を作らせてもらいました。

実際、授業をするのは難しく、生徒の立場・知識に合わせて授業を展開するためには、生徒にとって身近なものに関連づけさせる必要性に気付かされました。授業実習を重ねていく上で、指導していただく先生との反省会は大変勉強になりました。

また、教育実習生同士、お互い励まし合い、切磋琢磨して頑張ったこともいい経験となりました。研究授業以外の通常

の授業実習でもお互いに授業を頻繁に参観し、控え室で多少厳しいことでも批評し合いました。

ところで、教育実習で気付いたことですが、現場の先生の忙しさには驚きました。実習生は主に授業がメインで、教材研究さえしていればよかった部分がありました。しかし、現場の先生は、学級経営に関する事務処理、学級の生徒の一人一人の把握、不登校や地域での問題などの対応、行事の準備、部活動の顧問の仕事などに追われ、教材研究をする時間もままならない現状を知りました。

目には見えないところでの先生の頑張りを目の当たりにして、自分が中学生のころの行いを、今になって反省しました。教育実習は、とても言葉だけでは語りつくせないものがあります。どんな内容であれ、一生の思い出に残る貴重な体験になると思います。

◇「就職・進学支援課」からの各種情報について

「就職・進学支援課」から、企業説明会及び関係団体からの案内、公務員採用試験対策講座等について既にメールが届いていると思いますが、教員や保育士以外の就職情報について、「就職・進学支援課」から情報を発信してもらおうようにしました。今後、アドバイザーや「就職・進学支援課」の担当者と相談をして各種情報を進路選択等に生かしてください。

平成28年度特別対策合宿A・B

期間：9月27日（火）～9月29日（木）

場所：青島青少年自然の家

内容：特別対策講座・面接練習・模擬試験

集団討論・場面指導・水泳・小論文

新規採用教員の講話・レクリエーション

意欲と決意を持って臨みましょう

